

# 漁海況情報

第616号(令和5年10月17日発行)

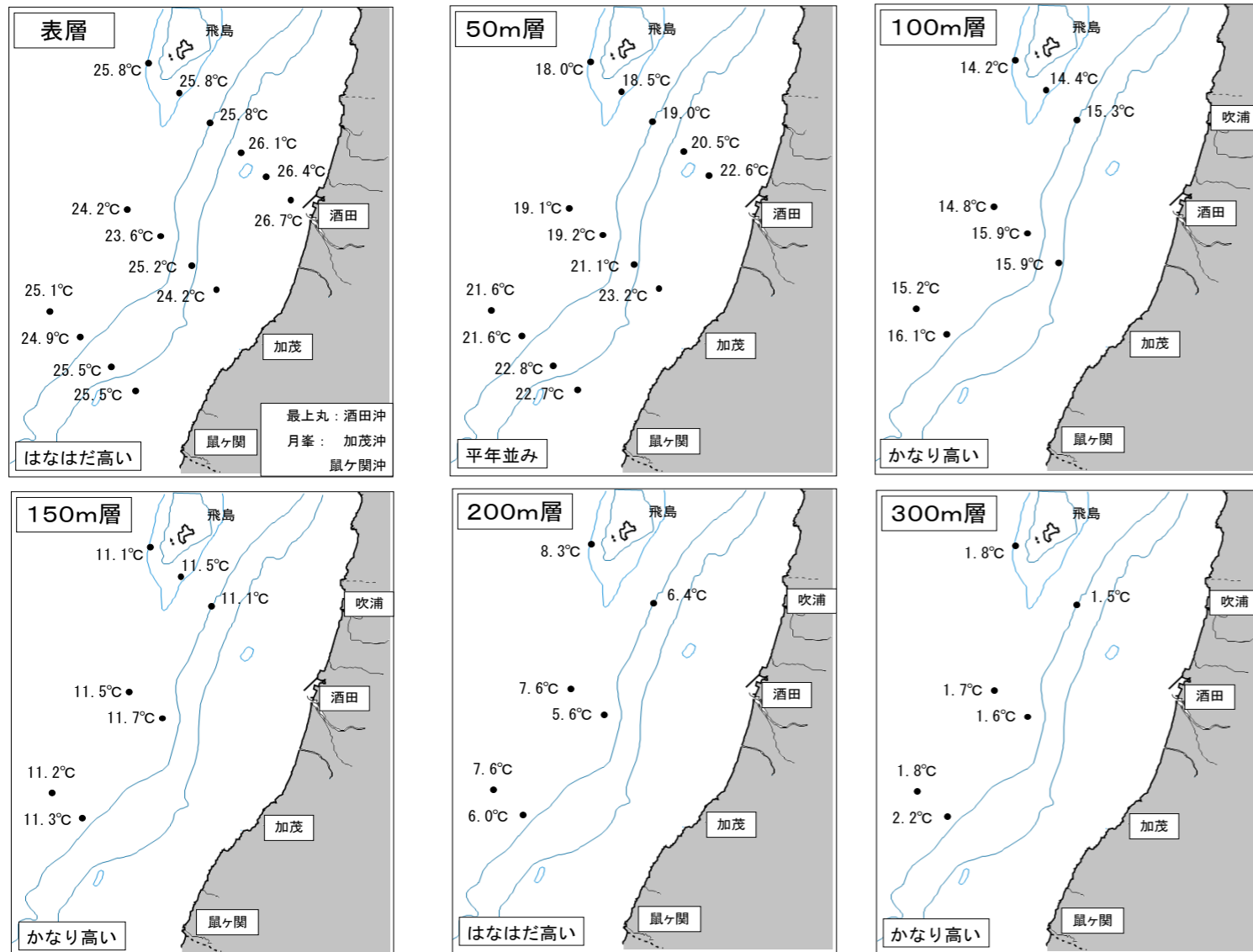
発行:山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- ・水産研究所「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、9月26日と10月4日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および200m層は「はなはだ高い」、100m層、150m層および300m層は「かなり高い」、50m層は「平年並み」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「はなはだ高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構が10月6日に発表した「2023年度第3回日本海海況予報」によると、日本海北部における対馬暖流域の表面水温は「かなり高め」、50m深水温は「やや高め」で経過します。
- ・大型クラゲは県内の出現情報がなく、大量出現の可能性は低いと思われます。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	25.2	20.8	15.2	11.3	6.9	1.8
前年差	+1.8	+1.7	+1.7	+1.3	+0.6	-0.0
平年差	+2.4	+0.6	+1.3	+1.5	+1.7	+0.3
評価	はなはだ高い	平年並み	かなり高い	かなり高い	はなはだ高い	かなり高い
(前月評価)	(はなはだ高い)	(かなり高い)	(平年並み)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



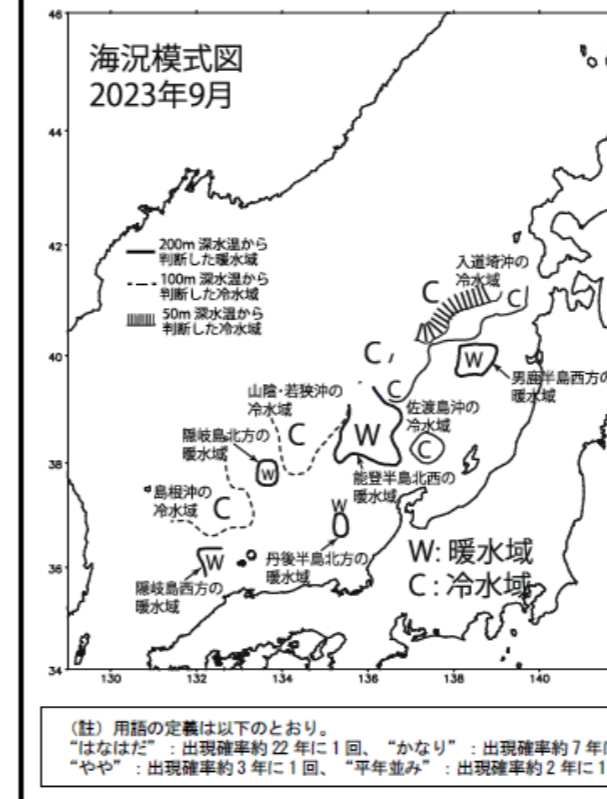
地先平均水温(9月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	27.4	+2.2	+2.8	はなはだ高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	27.6	+2.3	+2.5	はなはだ高い

## 1 2023年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月6日プレスリリースより作成)

### 今後の見通し(2023年10月中旬~12月)のポイント

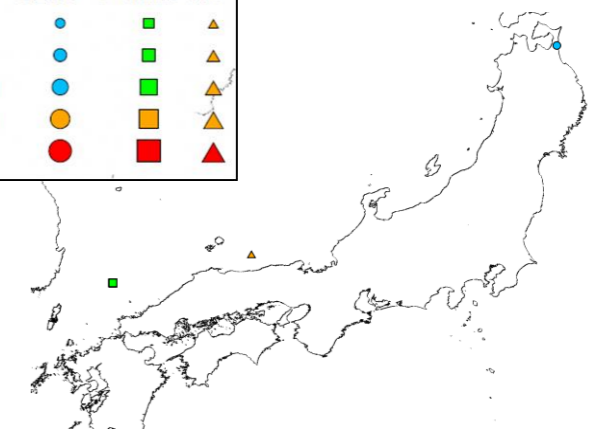
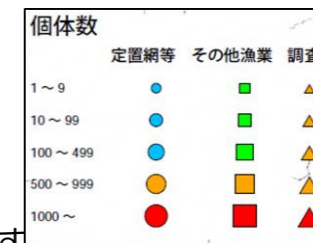


- 隠岐島西方の暖水域は北西に移動し、鬱陵島周辺に分布する。隠岐島北方の暖水域は北東に移動し、能登半島北西に分布する。丹後半島北方の暖水域は、大部分は北東に移動して能登半島北西の暖水域と男鹿半島西方の暖水域と合流して佐渡島北西に分布し、一部は南西に移動して隠岐島東方に分布する。能登半島北西の暖水域は北東に移動し、やや西方に移動した男鹿半島西方の暖水域と合流して佐渡島北西に分布する。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さくかなり離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくはなはだ離岸で経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。入道崎沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。
- 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- 対馬暖流域の水深50m水温は、日本海西部及び北部ともに“やや高め”で経過する。

## 2 大型クラゲ出現情報

○県内では10月16日現在、入網などの情報はありません。

○日本海の西部で主に入網していますが、大量出現の可能性は低いと思われます。



(一般社団法人 漁業情報サービスセンター ホームページより)

# 9月の漁況

- 延べ操業隻数は1,280隻で前年比75%、総漁獲量は320トンで前年比56%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は117トンで前年比72%でした。スケソウダラおよびニギスは前年を上回り、ヒラメ、口細(マガレイ)、ねさし(マコガレイ)、大羽(ムシガレイ)、ヤナギムシガレイ、その他のカレイ類、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、ノドグロ(アカムツ)、アカラ(ハツメ)、マダラおよび紅エビ(ホッコクアカエビ)は前年を下回りました。タイ類、スルメイカおよびタコ類は前年並みでした。
- はえなわ漁業の漁獲量は5.4トンで前年比59%でした。タイ類、ブリ類、アマダイおよびサバは前年を上回り、サワラ、メバル類およびノドグロ(アカムツ)は前年を下回りました。
- 採貝藻漁業の漁獲量は12.1トンで、前年比92%でした。サザエは前年並みでした。
- 定置網漁業のサケの漁獲はありませんでした。
- その他の漁業では、さし網漁業のウスメバルは前年を上回り、船凍いか釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のキス、あまだいさし網漁業のアマダイ、ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のブリ類およびかご漁業の浅海性バイ類は前年を下回りました。

- \* 前年比は平成30～令和4年までの平均値と比較した値です。
- \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	65	263	268	53	144	93	50	344	1,280	76%	75%
漁獲量	5,005	12,421	170,421	64,431	15,369	10,274	1,038	41,299	320,258	70%	56%
前年比	70%	116%	63%	113%	56%	73%	57%	59%	70%		
前年比	71%	173%	44%	131%	52%	66%	30%	60%	56%		

## 底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	21	51	40	24	116	252	72%	76%
タイ類	146	14,185	1,449	303	1,892	17,975	68%	88%
ヒラメ	244	43	103	123	79	591	133%	78%
口細(マガレイ)	146		149	160	280	735	32%	13%
ねさし(マコガレイ)	32	357	243	57	57	746	31%	28%
大羽(ムシガレイ)	78	300	705	532	524	2,138	43%	42%
ヤナギムシガレイ	38	1	191	355	345	930	64%	33%
その他のカレイ類	81	1	503	357	789	1,730	79%	72%
ハタハタ	136		29	7		171	16%	5%
スケソウダラ	67		186	65	146	464	256%	267%
ホッケ	233	27,799	466	220	3,606	32,324	48%	72%
アンコウ	136	219	484	1,228	734	2,800	67%	68%
ノドグロ(アカムツ)	49	126	267	203	477	1,123	35%	37%
アカラ(ハツメ)		92			959	1,051	40%	31%
マダラ	319	448	285	176	1,505	2,732	41%	21%
ニギス		12,528	29	9	411	12,978	167%	360%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	28		31	8	9,470	9,537	81%	78%
スルメイカ	156	205	826	610	5,368	7,164	48%	88%
タコ類	246	62	318	140	1,543	2,309	95%	98%
その他	1,726	4,518	3,127	1,972	7,727	19,070		
計	3,859	60,884	9,389	6,524	35,911	116,567	61%	72%
前年比	61%	64%	56%	71%	58%	61%		
前年比	64%	87%	53%	78%	60%	72%		

## はえなわ漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	11	2	14	3	6	5	10	40	91	66%	36%
タイ類	149		440	70	19	16	89	324	1,106	91%	162%
ブリ類			2,654					7	2,661	319%	1179%
サワラ							5	64	69	105%	1%
メバル類	1	14	4		16	21		7	63	38%	23%
ノドグロ(アカムツ)			8	4	56	1		35	104	198%	44%
アマダイ	154					5	19	24	202	71%	138%
サバ	63		31		88	66	54	381	683	49%	115%
その他	30	5	65	9	0	90	23	258	479		
計	397	27	3,198	78	179	199	190	1,099	5,366	106%	59%
前年比	753%	3%	939%	78%	52%	62%	30%	47%	106%		
前年比	86%	6%	856%	37%	31%	15%	10%	30%	59%		

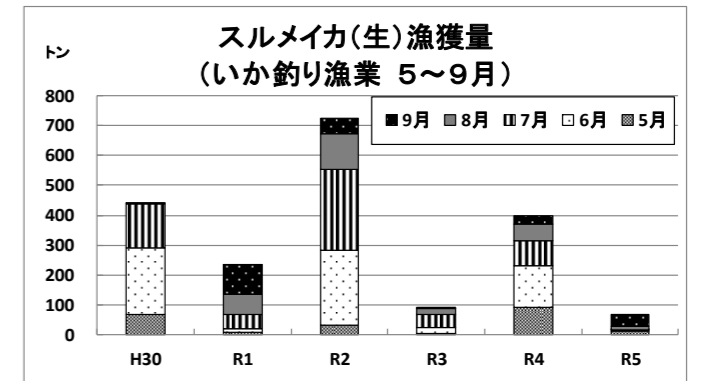
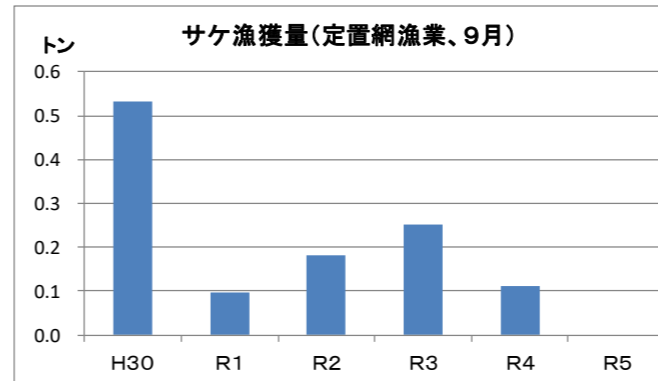
## 採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	4	161	5	17	48	16	31	147	429	81%	86%
サザエ		4,939	32	371	1,440	438	757	3,378	11,354	96%	91%
その他	151	190	226		13		62	76	717		
計	151	5,129	258	371	1,453	438	819	3,454	12,071	98%	92%
前年比	222%	142%	65%	107%	86%	78%	81%	75%	98%		
前年比	173%	188%	140%	57%	58%	45%	61%	75%	92%		

※当所の採貝藻の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

## その他の漁業

漁業種類	船凍いか釣り漁業	いか一本釣り漁業	さし網漁業	あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業	
延べ操業隻数	3	114	109	24	41	113	73	
総漁獲量(kg)			4,065	1,765	9,150	2,336	4,025	
前年比			77%	60%	75%	38%	62%	
前年比			105%	75%	82%	80%	70%	
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ウスメバル	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	63,080	39,924	3,253	33	1,434	8,566	463	4,025
前年比	45%	152%	80%	33%	60%	74%	17%	62%
前年比	23%	109%	130%	14%	71%	80%	50%	70%



**最上丸の調査予定**  
(10月中旬～11月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・アカムツはえ縄調査を行います。
- ・ズワイガニ沖合漁場調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力  
よろしくお願ひします。

